

なにわ路情

野宿者ジャーナル 14号(季刊)

「なにわ路情」がめざすもの

- 野宿生活者の生活や声を取りあげ、ともに考える新聞です。
- 脱野宿のきっかけとなるような紙面づくりを心がけています。
- 今までのこと、そしてこれからのこと、いっしょに考えていきませんか。

ビッグ・イシュー 販売員報告 (第五回)

路上人生

文章 光富紳弥



京都の秋も今年最後の時代祭と共に終わりを告げようとしている。これからは凍えるほど厳しい冬がまっています。私が京都で路上人生を送る事になった経緯に付き、文書に書く事に決めました。私は福岡県博多の中央魚市場で働いていました。配送の仕事が多く、朝早くに博多駅の近くの店へ配達していた時に、車のトラブルで傷害事件を起こして留置所に入る事になり一日の間入所、その後と検察庁から起訴され福岡拘置所に収監されました。拘置所には、九〇〇人の未決の人達が収監されています。私が収監された部屋には六名の人達がおり、ヤクザ、万引、殺人者、強姦の罪を犯した人達が入っており、なかなか最初は馴染めなかったが、いろいろ話をしていると威圧感はなく生活していました。

拘置所内の規則は思ったほどなく、朝六時起床、七時朝食が終わり点呼、の保証人が立てられずアパートを出るはめになり仕事もやめる事になった。又、寝る場所がなく考えている時、以前ビッグイシュー販売のことを思い出し、河原町通六条にある交流館に行き、販売の許可をもらい、河原町四条通高島屋アパート前で販売となった。初めは人通りが多く、道行く人達の興味深げな視線が気に入りやうと自信がなくなってきた。いろいろ考えましたが、本を購入される方々から励まされ、お茶の差し入れ、弁当など多くいただいたりして、ガンバラないといけないと思ひ、毎日ストリートマガジン販売に力を出しています。

私の売場の付近では若者達がチラシ配り、キャッチセールスなど不条理の世界であり、毎日変化のある場所でもあります。ストリートマガジンの売れ行きもよく、毎日の食事、風呂などの生活代金など売上金でまかないしながら貯金もでき、安定した毎日を送っています。毎日寝る所にも変化があり一ヶ月間の泊まる場所は、京都大学の吉田寮が一四日間、下京区の中央保護所に七日間入所します。保護所には、三食

の食事、風呂、洗濯、娯楽室、テレビなどがあり安定した生活ができます。保護所には毎日四〇名くらい野宿者の人達が入りしています。京都には野宿者の人達に食事を与える教会などが多くあり、働かなくても食事が与えられ、下京区役所の二階に行けば、パン牛乳などがもらえます。だから京都にいる野宿者の人達が仕事をみつけて働こうという精神がなくなり、毎日を何もしないで生きている人が多く見られます。私はストリートマガジンと出会いこの仕事の楽しさや苦勞などの経験を覚える事によって今後の私の生きる道を見つけ、生活の安定と、向上心に向かって生きて行く事になると思ひます。

京都に上京して約三年間になり、私の五三年の人生をふりかえると、福岡で生まれて高校卒業、東京にて三年間働き福岡に帰って酒場の配達係一六年、福岡魚市場一三年間、毎日安定した生活を送っていましたが、傷害事件を起こして人生が百八〇度かわりましたが、人間生きて行くためには、笑顔と前向きな姿勢で生きていければいい事がある。

「なにわ路情」は、財源不足のため八号(〇四年八月発行)より、年六回から四回へ発行回数の削減せざるを得なくなりましたので、発行継続を目的に、九号(〇四年一月発行)より読者の皆様からご寄付を、企業様からの広告を募ることにいたしました。それ以来、今号で一年を迎えましたので、皆様にご寄付の報告をさせていただきます。

〇四年一月より〇五年二月までに、個人・団体様から延べ七十七件、四一六五〇円、企業様から延べ九件、四一五〇〇円の収入を得させていただきました。また、編集スタッフより一〇万八千円、

「なにわ路情」は、財源不足のため八号(〇四年八月発行)より、年六回から四回へ発行回数の削減せざるを得なくなりましたので、発行継続を目的に、九号(〇四年一月発行)より読者の皆様からご寄付を、企業様からの広告を募ることにいたしました。それ以来、今号で一年を迎えましたので、皆様にご寄付の報告をさせていただきます。

〇四年一月より〇五年二月までに、個人・団体様から延べ七十七件、四一六五〇円、企業様から延べ九件、四一五〇〇円の収入を得させていただきました。また、編集スタッフより一〇万八千円、

「なにわ路情」の発行は皆様の「厚意に支えられています」一年間の「ご寄付報告と御礼」

編集スタッフの大学教員の獲得助成金から三九万五千円の拠出があり、総額一三六万九千五百円の収入となりました。



くじく応援室 / 佐々木敏明

これまでの仕事づくりをふりかえって

明けましておめでとごさいます。またまたきびしい寒さで新年を迎えてしまいました。お元気で暮らしますか? 今年こそ小さな夢から実現していきませんか。おなじみの役立たず新聞「なにわ路情14号」をお届けいたします。

受けます。企業からの問い合わせもふえました。本稿は、二年余りになる雇用企業数社とのつきあひの中で、一〇〇人以上の失業者たちの会社面接に同行し、採用された人たちの多くが現在も仕事についているという報告です。雇用会社などの面接件数や、定着率は表1で参考にしてください。(「就労定着率」とは面接後、〇五年一月一日現在まで四ヶ月以上仕事についている人たちの割合)。

多くの人が理解と関心を

A社との協力はもっとも古く二年六ヶ月です。ここで当初から勤務している人や、一年六ヶ月以上勤務している人の数は八〇%以上になりました。B社とは〇五年五月から協力がはじまりますが、就労する人たちの好感度はいいようです。又地域商店街や団体などの協力も積極的に進めてきました。地域のスーパー清掃を紹介し採用後三年目になる人や、年金生活者、生活保護者の生きがいづくりも進

DATA 表1 雇用協力企業など面接件数の割合

会社団体名	面接件数	就労定着数	定着率
A社	74	51	69%
B社	11	7	64%
C社	9	0	0%
D社	7	0	0%
地域・商店	8	5	63%
計	109	63	58%

DATA 表2 退職状況

会社団体名	遁走	自己都合	他社勤務	病気	その他	退職計
A社	14	1	6	1	1	23
B社	2	2	0	0	0	4
C社	1	6	2	0	0	9
D社	1	4	2	0	0	7
地域・商店	2	0	1	0	0	3
合計	20	13	11	1	1	46

紙面

- 1 たしかな夢をふくらませるために
- 2 みなさんは「司法書士」という職名を聞いたことはありますか?
- 2 石綿問題はこれからが勝負!
- 2 セーブ・ザ・ホームレス・コンサート
- 3 一〇・三〇野宿生活者支援統一行動
- 3 生活保護による地域生活への移行
- 4 ビッグ・イシュー販売員報告 (第五回)
- 4 編集後記

発行元
なにわ路情編集局
〒530-8090 大阪中央郵便局留
「なにわ路情編集局」係
tel 080-3767-7989
e-mail rojoinfo@zap.att.ne.jp
http://www.naniwa-rojo.com/
郵便振替口座番号
00900-5-222740 なにわ路情編集局

編集協力 (有)In-visible (インヴィジブル) http://www.in-visible.net/ (有)地域・研究・アシスト事務所 http://www.or-asist.net/



ホームレスの仕事をつくり自立を応援する、ビッグイシュー日本です。雑誌販売に興味ある方は下記までお問合せ下さい。

■連絡先:
06-6344-2260
■住所:
大阪市北区堂島2-3-2堂北ビル4F



就労支援をNICEと協働に応援します

みなさんは『司法書士』という職名を聞いたことはありますか？

司法書士 西山三子

も、きちんと悩みを解決できるように、他の専門家や支援者の方への『橋渡し役』をします。

よろず相談の窓口です、お気軽に！

つまり、法律問題に限らず、『よろず相談の窓口』として『司法書士』を活用して欲しい、「司法書士と一緒にがんばると生活再建ができるんだな。」と思っただけだき、是非是非、相談を持ちかけて欲しいのです。

巡回法律相談活動をしていると、「税金を使っているが、税を払ってはいないか」とか「人に迷惑をかけるられないかから、自分でなんとか路上生活ができる間はこのままでいい」と、生活再建のための制度がたくさんあるのに、これらの制度を利用することを遠慮される方がいらつしやいます。

でも、そんな遠慮は必要ありません。これらの制度は、ひとりひとりが自分らしく生きるために作られた制度なのだし、制度を利用することは、私も含めみんなの権利なのです。

弁護士さんも私たち司法書士も、みなさんの力になりたくて張り切っています。是非ご相談ください。

巡回法律相談活動をしていると、「税金を使っているが、税を払ってはいないか」とか「人に迷惑をかけるられないかから、自分でなんとか路上生活ができる間はこのままでいい」と、生活再建のための制度がたくさんあるのに、これらの制度を利用することを遠慮される方がいらつしやいます。

でも、そんな遠慮は必要ありません。これらの制度は、ひとりひとりが自分らしく生きるために作られた制度なのだし、制度を利用することは、私も含めみんなの権利なのです。

弁護士さんも私たち司法書士も、みなさんの力になりたくて張り切っています。是非ご相談ください。

巡回法律相談活動をしていると、「税金を使っているが、税を払ってはいないか」とか「人に迷惑をかけるられないかから、自分でなんとか路上生活ができる間はこのままでいい」と、生活再建のための制度がたくさんあるのに、これらの制度を利用することを遠慮される方がいらつしやいます。

でも、そんな遠慮は必要ありません。これらの制度は、ひとりひとりが自分らしく生きるために作られた制度なのだし、制度を利用することは、私も含めみんなの権利なのです。

弁護士さんも私たち司法書士も、みなさんの力になりたくて張り切っています。是非ご相談ください。

巡回法律相談活動をしていると、「税金を使っているが、税を払ってはいないか」とか「人に迷惑をかけるられないかから、自分でなんとか路上生活ができる間はこのままでいい」と、生活再建のための制度がたくさんあるのに、これらの制度を利用することを遠慮される方がいらつしやいます。

でも、そんな遠慮は必要ありません。これらの制度は、ひとりひとりが自分らしく生きるために作られた制度なのだし、制度を利用することは、私も含めみんなの権利なのです。

弁護士さんも私たち司法書士も、みなさんの力になりたくて張り切っています。是非ご相談ください。

石綿問題

石綿をあつかう工場「クボタ」の労働者だけでなく、周辺に住む人々の中から「中皮種」という腫瘍(できもの)がたくさん見つかったことが、大ニユースになりました。

石綿とは綿のような石(鉱物)です。まるで白い綿のように見えます。この石綿を吸うと、三〇年から四〇年もたつてから中皮腫、肺がんなどのこわい病気を起こしてきます。熱や薬にも強い上に安いのので、建材(屋根用のスレート・かべ材・内装材など)や水道管、船、車など、いろいろな場所ですくさん使われてきました。

日本で使われている石綿はすべて輸入です。先進国の中で一番輸入量が多いのに、中皮腫や肺がんが他の国にくらべて、一けた以上すくないといわれています。きっと、まだ病気になるっていても気づかないままの人がたくさんいるにちがいないと思います。国も必要な規制をしてくれませんか。



「胸が痛い」「息切れ」「息くるしい」「から咳」「痰」が続く人、胸のことが心配な人は「昔、石綿をつかう仕事をした」と、自分の方から仕事の内容をいって、相談してください。

●結核や肋膜炎などにかかったことがある人も、ひよつとすると、石綿が引き金になっているかもしれません。胸のレントゲン検査を受けるときにも、自分の方から昔の仕事の内容を話して、しっ

無料健診の案内や予約など大阪市各区役所内にある保健福祉センター・地域活動係

〈例〉

- 北区役所 06-6541-0000
- 都島区役所 06-6541-0000
- 西成区役所 06-6541-0000
- 西成労働福祉センター・福祉係 06-6541-0000

(案内のみ)

アスベスト労働災害に関する問い合わせ

大阪労働局 06-6541-0000

関西労働者安全センター 06-6541-0000

ヘンクマン氏は世界的に有名なテロの演奏家であるが、その「ライヴ」ホームレス生活者支援のためのNPOを組織し活動を行っています。

「チェロの独奏」セーフ・ザ・ホームレス・コンサート

開催団体：セーフ・ザ・ホームレス・コンサート大阪実行委員会

(ベルリン日独センター、大阪ドイツイ文化センター、NPO釜ヶ崎支援機構、釜ヶ崎のまち再生フォーラム、自立支援センターおおよど、ほか多数)

開催日時：二〇〇六年三月四日(土) 一三時半～一五時半

会場：大阪府立大学中記念館 ホール

入場料：無料

※可能な限り寄付金を千円を100にして、二〇円以上を希望いたします。

※または寄付金、全国規模活動しているホームレス支援団体に対処いたします。

当日、「コンサート」をばんで午前と夕刻に五回のリハーサルも開催されます。

テーマ：路上生活のきびしさ、日独ホームレス問題の現状と社会の課題

会場：大阪府立大学情報情報センター10階 大会議室

石綿を吸った原因が借金の方！『自己破産手続』はある程度有名ですが、「最後に返済した日から五年(ケースによっては一〇年)経っているから、消滅時効を援用します」という内容の配達証明付内容証明という手紙を出すことで、借金を返済する義務から免れることのできる『消滅時効』という制度を「存じますか？」

おそらくこれまでにも耳にする機会は多かったのではないかと思います。が、実は、自己破産手続も消滅時効の援用手続も、私たち司法書士は弁護士さんとほとんど同じように取り扱うことができますよ(違いは、弁護士さんは本人の代理人として手続きができるのに対し、私たち司法書士は本人をサポートする形で手続きができる点です)。

また、生活保護を受けることが決まり量での生活を始めた後でも、困ったことがあれば何でも相談してください。もし、相談された内容が例えば医療のことで、私たち司法書士では直接対応できない内容であったとしても

併せて、生活保護を受けることが決まり量での生活を始めた後でも、困ったことがあれば何でも相談してください。もし、相談された内容が例えば医療のことで、私たち司法書士では直接対応できない内容であったとしても

併せて、生活保護を受けることが決まり量での生活を始めた後でも、困ったことがあれば何でも相談してください。もし、相談された内容が例えば医療のことで、私たち司法書士では直接対応できない内容であったとしても

併せて、生活保護を受けることが決まり量での生活を始めた後でも、困ったことがあれば何でも相談してください。もし、相談された内容が例えば医療のことで、私たち司法書士では直接対応できない内容であったとしても

一〇・三〇野宿生活者支援統一行動

大阪府保険医協会・渡辺征二

大阪市内の野宿生活者の健康や生活を支援する「一〇・三〇野宿生活者支援統一行動」が一〇月三〇日に行われました。大阪府保険医協会や国境なき医師団日本、ボランティア団体や個人などの協力で、医師・歯科医師・保健師・看護師の医療関係者や研究者、弁護士・司法書士・社会保険労務士・ケースワーカーなど二〇〇人以上が参加しました。

昨年三月二日から「あおぞら医療健康相談」―医師・歯科医師を中心に問診や血圧測定、福祉医療などの実現に生かすための医療意見書づくりや歯科健診などを計六回、今年の七月―八月には夜の「ほしぞら医療健康相談」を行っていましたが、これらの経験から、野宿生活を余儀なくされている方々の生活全般の不安や問題に伝えることが健康な生活のためには不可欠であることが明らかになり、今回の行動を実施することになりました。

当日は朝八時の北区の更生施設・大淀寮のおにぎり作りから始まり、二〇〇個を西天満の大阪

併護士会館前に運びました。本部ではレントゲン撮影、各種相談活動やおにぎり配布などを行い、五〇人以上の方が検診や相談を受けにこられました。巡回班は西天満や中ノ島公園周辺をまわる班と、大阪城公園や桜ノ宮公園まで移動してそこで巡回する班に分かれました。午後は検診車を淀川河川公園へ移動させ、高架下本部を置いて検診を行いました。冷たい風が吹く中で相談活動が一時半まで続きました。夜はJR大阪駅前バスターミナル前の通路に健診車を置いて寝袋や温かいおにぎりを配り、一〇時半を回るまで相談活動が行われました。

三ヶ所での問診・聞き取りは一六〇人以上、検診は一〇九人で結核の方が二人判明し、あらためて野宿生活の厳しい実態が浮き彫りになりました。居宅相談では翌日即入居した方が五人いました。梅田で野宿をしていたご夫婦は近所の野宿生活者に口コミで統一行動のことを聞き、相談にこられて夫婦での居宅が実現し

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

(上) 血圧測定 (下) 歯科検診



また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

生活保護による地域生活への移行

野宿現場から自立支援センター、ケアセンターなどを利用しながら、畳の上で生活を送るときに、生活保護を利用する人が多くなってきました。大阪市では、一九九九年に巡回相談制度ができ、翌年には自立支援センターができ、おおよくの制度がようやく整備されて五年以上たちました。ホームレス自立支援に関する特別措置法も制定後四年目を迎えます。

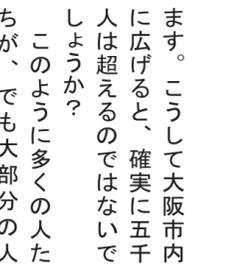
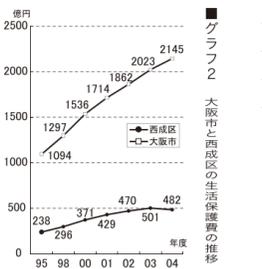
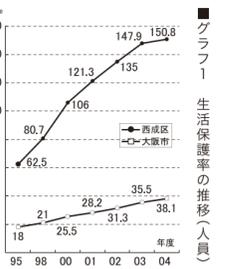
巡回相談ケースが一万件にたつし、自立支援センターの退所者が二千人にたつしました。退所後就労継続してアパートに住んでいる人もかなりの数にのぼるでしょうし、

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

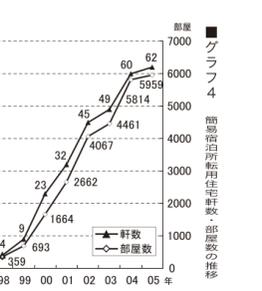
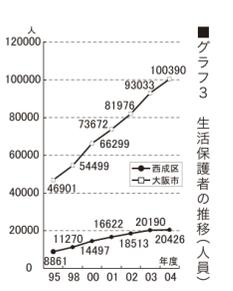
また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。



このように多くの人たちが、でも大部分の人は、ひとり、ほとんど家族との連絡もなく、地域で暮らし始めています。いろいろな思いや、要

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。

また野宿に戻られた人もおられます。しかし現実にかつ数多くアパート住まいに結びついている事例は、生活保護受給をされた人々ではないでしょうか。



望や、希望や、あるいは語らいや、笑いや、怒りを、開放的に伝えてゆくような仕組みを地域でつくってゆく必要を大いに感じています。なにわ路情もそのひとつの手助けになればと願っています。(み)

